観光、貿易、投資、そして日本との関係

「南部アフリカ・フォーラム 2012」 Southern Africa Forum 2012

開催報告書



◎開催概要◎

《 名 称 》 南部アフリカ・フォーラム2012

《日時》 2012年5月29日(火) 14:00~20:00 *開場13:00

《 会 場 》 京王プラザホテル本館5F「コンコードボールルーム」 (新宿区西新宿2-2-1)

《 主 催 》 毎日新聞社

《後援》 外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構(JETRO)、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)、国際協力銀行(JBIC)、アフリカ協会、アフリカ開発協会(AFRECO)、アフリカ日本協議会

《協力》 アンゴラ共和国、ボツワナ共和国、コンゴ民主共和国、レソト王国、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モザンビーク共和国、ナミビア共和国、南アフリカ共和国、タンザニア連合共和国、ザンビア共和国、ジンバブエ共和国

《協賛》 三井物産(株)、双日(株)

《 対 象 》 大使館関係者・毎日新聞一般読者ほか

《参加者》 400名

《告知方法》 関係者向け案内・毎日新聞紙上で一般公募

《参加料》無料

《プログラム》 14:00 **開演~主催者挨拶** (10分)

岸井 成格(毎日新聞社主筆)

14:10 来賓ご挨拶 (10分)

スチュアート・コンババッハ(ジンバブエ共和国特命全権大使)

14:20 来賓ご挨拶 (15分)

柳澤 光美(経済産業副大臣)

14:35 講演(1) (20分)

「経済成長の続く南部アフリカの将来」 ロブ・デイビス(南アフリカ共和国通商産業大臣)

14:55 記念撮影(5分)

15:00 講演② (30分)

「TICAD5 への期待―自治体の海外交流 〜横浜とアフリカのパートナーシップの構築に向けて〜」 林 文子(横浜市長)

15:30 休憩(舞台転換)(10分)

15:40 プレゼンテーション及びパネルディスカッション(100分)

「観光、貿易、投資、そして日本との関係」

[プレゼンテーション]

- 1)「TICAD V 日本・アフリカ関係を新たなステージへ—」 草賀 純男(外務省アフリカ審議官)
- 2)「投資と開発について」

ベルミロ・マラテ(モザンビーク共和国特命全権大使)

3)「観光について」

サロメ・シジャオナ(タンザニア連合共和国特命全権大使)

4)「科学技術について」

モハウ・ペコ(南アフリカ共和国特命全権大使)

5)(各話題についてコメント)

スチュアート・コンババッハ(ジンバブエ共和国特命全権大使)

モデレーター:坂東 賢治(毎日新聞社編集編成局次長)

17:20 講演③ (30分)

「都市インフラの海外輸出―自治体の挑戦」 猪瀬 直樹 (東京都副知事)

17:50 **謝辞**(10分)

リチャド・ラモエレツィ(レソト王国駐日特命全権大使)

18:10 関係者懇親パーティー(90分)

20:00 終了

◎募集告知◎

クスで郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数ネルディスカッション。≪申し込み≫はがきかファ審議官らによる三つのテーマに分かれて行われるパ 行、アフリカ協会、アフリカ開発協会、 構、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、 資源エネルギー庁、 3(土日祝日除く午前10時~午後5時) 画サービス「南部アフリカフォーラム」係、ファク を記入し〒100-8051 による講演、各国大使、草賀純男・外務省アフリカ fm1205/へ。 問い合わせは30・3212・227 ttps://www.mainichi-ks.co.jp/form/sa ス3・3212・0405へ、インターネットはh 南部アフリカフォーラム 林文子・横浜市長、猪瀬直樹・東京都副知事 每日新聞社/後援 外務省、 12カ国の代表と日本の代表者が討議しま 容≫経済産業省来賓のあいさつ、SADC 場≫東京都新宿区の京王プラザホテル≪内 す。抽選で400人を無料招待します。 力開発共同体(SADC、15カ国) して日本との関係」と題して、南部アフリ ムを開催します。 係を話し合う第4回南部アフリカフォーラ 来年6月のアフリカ開発会議 ≪日時≫5月29日(火)午後2~6時≪会 国際協力機構、日本貿易振興機 每日新聞社内每日企 経済産業省、 ~ ~ アフリカ日 国際協力銀 TICA

◎募集広告◎

観光、貿易、投資、そして日本との関係― 「部アフリカ・フォーラム2012」

日時: 5月29日(火) 14時~18時(※13時間期) 会場: 京王プラザホテル本館 5F「コンコードボールルーム」(東京都新区西新宿 22-1)

演2

バネルディスカッション

演3 ※日英同時通訳あり ※上記プログラムは変更となる場合があります。予めご了承ください。

定員:400名(定員を超えた場合は抽選。参加者には聴講券をお送りします) ※ご応募いただいた個人情報は、本事業運営目的にのみ使用します。

《お申込み方法》/バガキ、FAX、インターネットにて受け付けます。参加ご希望の方は、①氏名(ふりがな)②郵便番号③住所④電話番号①参加希望人数を明記のうえ、下記までお送りください。

●ハガキ=〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞社内 毎日企画サービス「南部アフリカ・フォーラム」係 ●FAX=03-3212-0405 (「南部アフリカ・フォーラム係」とお書き添えください) ●インターネット=https://www.mainichi-ks.co.jp/form/safm1205/

《お問い合わせ先》TEL=03-3212-2273 (平日 10 時~17 時)

主催: 毎日新聞社 後援: 外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、国際協力機構(MCA)、日本貿易振 主催・切ら制向は、後継・パタ雪・配用圧乗車・見みエイルデーバー国が配力技術(単の、ロチリカが 現機構(IFRO)、石油大放ガス・金属鉱物質影構(IOGMEC)、国際協力銀行(IPC)、アフリカ協会で フリカ開発協会(AFRECO)、アフリカ日本協議会 協力:アンゴラ共和国、ポツワナ共和国、コンゴ民主 共和国、レント王国、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モザンピーク共和国、ナミビア共和国、 南アフリカ共和国、タンザニア連合共和国、ザンビア共和国、ジンバブエ共和国 協賛:三井物産ほか

半2段募集広告(2012年5月2日付毎日新聞 東京本社版朝刊ほか)

観光、貿易、投資、そして日本との関係 フリカ・フォーラム201

来年6月の第5回アフリカ開発会議(TICAD5)を前に、安定した経済発展が注目を集める南部アフリカ地域と日本との協力関係を話し合う第4回「南部アフリカ・フォーラム」を開催します。「観光、貿易、投資、そして日本との関係」と題して、南部アフリカ開発共同体(SADC、15カ国)加盟の12カ国の代表と日本の代表者が討議します。

日時: 5 月29日(火) 14時~18時(※13時開場)

会場:京王プラザホテル本館5F 「コンコードボールルーム」

/東京都新宿区 \ 西新宿2-2-1

プログラム (敬称略)

14:00 主催者挨拶

14:10 来賓ご挨拶

スチュアート・コンババッハ(ジンパブエ共和国駐日特命全権大使) 経済産業省来賓

14:50 講演1「経済成長の続く南部アフリカの将来」 南部アフリカ開発共同体(SADC)代表

15:20 講演2「TICAD5への期待―自治体の海外交流」 林文子 (横浜市長)

15:50 休憩

16:00 パネルディスカッション

「観光、貿易、投資、そして日本との関係」

バネリスト:南部アフリカ開発共同体加盟12カ国大使

草賀純男 (外務省アフリカ審議官)

モデレーター:坂東賢治 (毎日新聞社編集局次長)

17:20 講演3「都市インフラの海外輸出―自治体の挑戦」 猪瀬直樹 (東京都副知事)

※日米同時通訳あり

※上記プログラムは変更となる場合があります。予めご了承ください。

お申し込み方法

ハガキ、FAX、インターネットにて受け付けます。 参加ご希望の方は、①氏名 (ふりがな)②郵便番号③住所④電話番号⑤参加希望 人数を明記のうえ、下記までお送りください。

●ハガキ=〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞社内 毎日企画サービス 「南部アフリカ・フォーラム」係



- ●FAX=03-3212-0405 (「南部アフリカ・フォーラム係」とお書き添えください)
- OURL=https://www.mainichi-ks.co.jp/form/safm1205/

定員: 400 名

(定員を超えた場合は抽選。参加者には聴講券をお送りします) ※ご応募いただいた個人情報は、本事業運営目的にのみ使用します。

お問い合わせ:毎日企画サービス「南部アフリカ・フォーラム」係

TEL: 03-3212-2273 (平日 10 時~17 時)

後援:外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構 (JETRO)、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)、国際協力銀行(JBIC)、アフリカ 協会、アフリカ開発協会(AFRECO)、アフリカ日本協議会

協力:アンゴラ共和国、ボツワナ共和国、コンゴ民主共和国、レソト王国、マダガスカル共和国、 マラウイ共和国、モザンビーク共和国、ナミピア共和国、南アフリカ共和国 タンザニア連合共和国、ザンビア共和国、ジンパブエ共和国

協賛:三井物産ほか

半5段募集広告(2012年5月10日付毎日新聞 東京本社版夕刊ほか)

◎インターネット応募フォーム◎

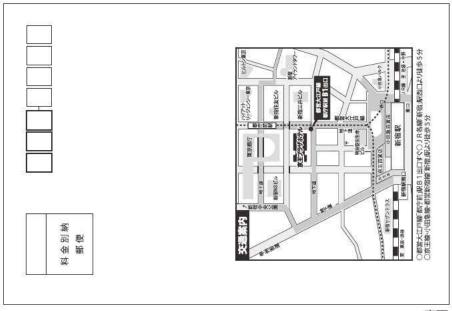


募集期間(2012年4月24日~5月28日)

◎参加証◎



裏面



表面

◎フォーラム開催風景◎

外観・控室



京王プラザホテル外景



開演前の控室



メイン玄関口



都庁前駅側玄関口



開演前の控室

協力団体ブース



ボツワナ共和国



レソト王国



マダガスカル共和国



マラウイ共和国



モザンビーク共和国



ナミビア共和国



タンザニア連合共和国



ジンバブエ共和国





三井物産





JICA

開場~開演まで



受付



受付



同時通訳レシーバーを配布



同時通訳ブース



展示ブース風景



展示ブース風景



会場内



最前列に集う各国大使

講演/前半



主催者挨拶 岸井 成格 毎日新聞社主筆



来賓ご挨拶 スチュアート・コンババッハ ジンバブエ共和国特命全権大使



来賓ご挨拶 柳澤 光美 経済産業副大臣



講演①
ロブ・デイビス
南アフリカ共和国通商産業大臣



講演② 林 文子 横浜市長



デイビス氏講演の様子



林氏講演の様子

講演/後半





パネルディスカッション開始

パネリスト



草賀 純男 外務省アフリカ審議官



ベルミロ・マラテ モザンビーク共和国特命全権大使



サロメ・シジャオナ タンザニア連合共和国特命全権大使



モハウ・ペコ 南アフリカ共和国特命全権大使



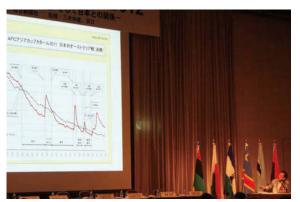
スチュアート・コンババッハ ジンバブエ共和国特命全権大使



モデレーター 坂東 賢治 毎日新聞社編集編成局次長



講演③ 猪瀬 直樹 東京都副知事



猪瀬氏講演の様子



謝辞 リチャド・ラモエレツィ レソト王国特命全権大使

灌漑用水ポンプ設備の

無償律設計画に参加。

三井物産

集落の自立・持続と

2012年(平成24年)6月24日(日) 統12版 企画特集 14 南部アフリカ・フォーラム2012 状々は世界様の変 神に面回し、これまで、 理賞されていなかった。 に変年、豊から園が、 に変年、豊から園が、 に変年、豊から園が、 に変年、豊から園が、 年のアフリナ諸国の の日の成長率は平均5 じ もられており、アンツ・ もられており、アンツ・ もられており、アンツ・ といないで世界の経済成 国々が財政危機を回避 これは、アフリカの これは、アフリカの 東京都内で開かれた。南部アフリカ開発共同体(SADC)日本と南部アフリカ地域の協力関係について話し合う「日本と南部アフリカ地域の協力関係について話し合う「日本と南部アフリカ地域の協力関係について話し合う「 を交わした。許細を報告する。 【文・金子亭、写真・橋本政明】アフリカ開発の課題や日本との関係強化の可能性について意見なる横浜市の林文子市長らが出席・投資や観光などをテーマに、 経済成長 は 南部アフリカ諸国がとく は 南部アフリカ諸国がとく に求めているものはインフ った輸送関係や水、電気な 内 ン児・警備ではればされる ほど日本企業の投資も促進 また日本企業の投資を収益しての おされる。観光資源としての 人。アンリカが的個人が、 ら、性の中でも、ときかが、 を使いれている。 をおきないのなどがいる。 をおきないのないでもの関係をないない。 をおきないのないでものときがいる。 をおきないのないでものときがいる。 ないのないでは、このでものに対している。 集ン・ショックの影響もありと とくれ質は減ったがそれで、 でもののほかのに対しての日を はないないでものという。 をはないないでは、 でものに対しての日という。 をはないないでは、 でものというが、 をはないないでもでいる。 をはないないでは、 でものに対しての日という。 をはないないでは、 でものというという。 をはないないでもできない。 をはないないでは、 でものに対しての日を はないないない。 とは3% 日本との質質像は、 という本スチャンスがある。 合 0 ロブ・デービス 実現必須 南アフリカ貿易・産業相 チョコレートは輸入し、 チョコレートは輸入し、 チョコレートは輸入し、 チョコレートは輸入し、 豊かな大地 ラスキーラムは「観光、質 関係」と通じて行われ、約 関係」と通じて行われ、約 でアフリカの経済成長は着 「アフリカの経済成長は着 「アフリカの経済成長は着 マラテ駐日モザンビーク い。製産産業も、さまざまな疾病を抱える我と、そこそが発展させなくてはならない。
カーまた地域統領を進めるる必要もあるだろう。
の・高必要もあるだろう。 た ることはできない。アフリカはまだ制度が終ってわらかは、インフラも不十分で、付か、インフラも不十分で、し十分なビジネス環境や金融質ががない。その意味で重質がない。その意味で重質がない。その意味でもでいえる。 時 す かなりの投資流人を経験しい ているが、ない。天然資源の開発が行っているが、っていているがあっていて、ない。天然資源の開発が行った。 はい、豊富薬の発展や雇自しまい、豊富薬の分展や雇用しまい、豊富薬の分展や雇用の出たも貴戚しなかった。 産業相は、東日本大震災後一また、柳沢光美・副経済一また、柳沢光美・副経済一 な 唯一の課題は直行使だ。 来 日本人の多くは「アフリカ て は渡い」と言う。こうした 中、各国政府は親光インフ 多糖備を進め、百行便を献 航させるよう航空会社と協 航させるよう航空会社と協 人 は朝光促進のため努力を続
と けている。
と けている。
を けている。
を サエッ
な や美しい自然もあるし、人
る や美しい自然もあるし、人
る や美しい自然もあるし、人
る や大しケンドリーで十分な
も おもくならがごきる。きち
ク んとしたホテルやリソート は、ラミエレンツ・転目しい は、ラミエレンツ・転目しい は、ファエーシンのは、 は、ファエーシンのは、 は、ファエーシンのは、 は、ファエーシンのを描述。 は、ファエージンのを描述。 は、ファエージンのを描述。 原 あり、SADCの各国政府の 使 観光業は重要な産業で 関いしたい。 映 資を通じてリスクを軽減し というが、我々としては投 の条件をそろえるべきだ」 ていくべきだと感じてい は、大きな発達を実現できれ、 は、大きな発展を実現できれ、 は、大きな発展を実現できれる。 は、大きな発展を実現が は、大きな発展を実現が に質易関係を作ってい なが、今後は日本企業 を入していく必要があ る。だからして、米年 る。だからして、米年 る。だからにたけてい しいことにたけてい との運転を深め、技術 三井物産のアフリカ拠点 ① カサブランカ (モロッコ) 輸送公社Transnet 向け 資源運搬用電気機関車の納入 ② アルジェ (アルジェリア) South Africa ● カイロ (エジプト) 資源運搬用の ❸ アクラ (ガーナ) 電気機関車を納入中 Malrobi (Kenya)

② ヨハネスブルグ (南アフリカ) 産業支援にもつなげます。 Supply for Electric ○ マブート (モザンピーク) **Challenge and Innovation in Africa** MEPMOZ 国連開発計画との 探鉱·LNG事業 地域貢献プログラムの実施 Mozambique Mozambique

フォーラム開催報告記事掲載/見開き右面(2012年6月24日付毎日新聞 東京本社版朝刊ほか)

Implementation of Regional

Contributions Program

現地子会社を通じ、

目指しています。

Exploration Activities

天然ガスの権益を保有。

2018年の生産開始を

掲載紙面

15 <u>企画特集</u> 統12版 2012^年(平成24年)6月24日(日)

水道ビジネス

供

VI

毎 П 新

南部アフリカ・フォーラム2012

か揺れても折れない水 が揺れても折れない水 提

る。東京は水道管の長さが地球半扇分あり、 使用状況に応じた水圧 機解状況に応じた水圧 機解状況に応じた水圧 が後収している。漏水率 ころした板砂な調整を

猪瀬直樹 東京都副知事



安全安心 各国の人を受け入れて 東京水道の研修所は

最終的に(地元の人が)



林文子

交流さらに深 横浜市長

民交流では、市内の小 学校で「大学」を「東日大震などは、日 を行い、印年によった。 日 ムステナも実施した。 東日大震などは、日 ま立をかいたいた。お 日 直に助けらう関係へ し 変形していた。 日 を振りがらずばれずいた。 日 を振りがらずばれずいた。 日 を振りがらずばれずいた。 日 を振りがらずばれずいた。 日 を 横貫は折づくらや イ

小 術を豊富に持つ。それ ・ をアフリカの成長に投 ・ ロ・TICAD4で採 ・ 択されたアフリカ開発 に、 内がもです、 横浜道 お 言」には、 横浜が移験 お 言」には、 横浜が移験

は2回目。青少年の人は19回目。青少年の人は19回目。青少年の人は19両元を原識した人と材育成を原識した人という、共に成長するパートナーとして関係を要きたい。さらなるアフリカの成長を願いな

こそ、知識や科学技術で付 に続けるのは不可能だから

的な地域となるだろう。
的な地域となるだろう。 大きなレベルで成長してい大きなレベルで成長してい 多くの人が2~3台ずつ持っなど見込まれている。例すると見込まれている。例すると見込まれている。例では、南アでは



るので、ぜひアフ

きるのは観光だと思う。余も簡単にアフリカに貢献でも簡単にアフリカに貢献で

観光促進、資源開発、人材育成 に関投資の関与を高めるご Tとを要望したい。



でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて でいるという傾向が表れて

個 また、アフリカ側はしっ との すると関与に慎重になりが きの すると関与に慎重になりが き は距離が遠く情報が限られ 毎 寄らねばならないと思う。 一日本側としては、アフリカー

も らだ。そこに付加価値を加 前 重要になってくる・中間 前 重要になってくる・中間 が伸びており、より良い商 っ 品が求められている。アフ っ 日が求められている。アフ の ロンチ、SADOは次なるフ 的 ロンティアに も でリティントの発展 れたいが、アンア以上の発展

ことに早週があると思う。 ことに早週があると思う。 でコ大使に聞きたいが、アフリカの将来像として、アフリカが次なるアンテになっていくという自然 付はいかがか。 でコ大使・アシウ以上に オなわると確信している。 と オなわると確信している。 と カなれると確信している。 と

www.sojitz.com

双日の「双」という字には、「二つで一組になるもの」 という意味があります。世界と誠実に、地域社会と 誠実に、そして企業と誠実に。これからも世界中の パートナーとともに歩み、未来へ新しい価値を実現 し続けること。それが総合商社・双日の使命です。

New way, New value

双日株式会

アフリカの未来を支える世代のために、教育支援プロジェクトを継続中。現在、タンザニア、モザンビークで実施しています。







フォーラム開催報告記事掲載/見開き左面(2012年6月24日付毎日新聞 東京本社版朝刊ほか)

